

JBAA 海外情報（2017年2月20日）

この情報は主に海外の業界誌を紹介・抄訳するものです。誤情報や誤訳に対し JBAA は責任を負いません。情報の使用に際しては、記載されている URL の情報源をご確認下さい。

ビジネス：

ダボス会議でのチューリッヒ空港の対応

2017年2月16日：Aviation International News

2017年1月にダボスで開催された世界経済フォーラムでは、チューリッヒ空港および近隣の Dubendorf 軍用空港が飛来するビジネスジェットの玄関口となったが、両空港とも駐機スポットが限られており、チューリッヒでは地上停留時間が3時間に制限された。対応した地元4つの FBO の奮闘ぶりが紹介されている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-16/world-economic-forum-drives-traffic-zurich>

Bombardier 社の BJ 納入機数、2016年は18%減

2017年2月16日：Aviation International News

2017年2月16日：FlightGlobal

Bombardier 社の年次財務報告書によると、同社の2016年の BJ 納入機数は163機で、前年の199機に比べ18%減となった。機種別の内訳は（カッコ内は2015年の数値）、Learjet 70/75が24機（32機）、Challenger 350が62機（68機）、Challenger 605/650が26機（25機）、Challenger 850がゼロ（1機）、Global 5000/6000が51機（73機）であった。また、2017年には135機の納入しか予想されていないが、その減少の主因は Learjet の生産縮小と見られている。Learjet シリーズは85型の開発が中止され、60XL 型の製造は2015年に終了していて、現在製造されている75型も、その受注残は2017年初の時点で13機しかない。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-16/bombardier-bizjet-deliveries-down-18-2016>

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/learjet-75-faces-new-production-cut-in-2017-434263/>

Dassault 社、アジア市場の成長に期待

2017年2月14日：Aviation International News

Falcon 8X をインドの顧客に納めた Dassault 社は、バンガロールで開催された Aero India ショーでアジア市場の成長に期待していることを表明した。現在、インドでは25機の Falcon Jet が運航されていて、ムンバイには\$5M の在庫を保有する部品庫が、デリーには連絡事務所を同社は構えている。また、クアラルンプールには年内にサービスセンターの設置を計画している。この他、タイ、フィリピン、インドネシアの市場に同社は期待している。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-14/dassault-sees-business-aviation-growth-coming-asia>

NBAA 誕生70周年

2017年2月13日：Aviation International News

2017年1~2月号：NBAA Insider

1947年2月13日に設立された NBAA が誕生70周年を迎え、Ed Bolen の談話が紹介されている。また、NBAA の会報“Insider”の最新号では、航空技術の発展を合わせて NBAA の歴史を紹介している。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-13/nbaa-celebrates-70th-anniversary-today>

情報源：<https://www.nbaa.org/news/insider/app/>

機材：

Global 7000の飛行試験は順調

2017年2月16日：Aviation International News

2017年2月16日：FlightGlobal

Bombardier 社が開発中の Global 7000は、試作1号機 FTV1の飛行時間が100時間を超え、飛行試験は順調に推移している。2号機 FTV2も間もなく飛行試験に加わることで、量産型の主翼の設計が完了に近

[テキストを入力]

づき2017年末に量産型機の試験飛行が始まること、Global 8000の開発も視野に入っていることなどが報じられている。なお、開発が2年遅れる原因となった主翼の再設計は、重量軽減が理由であったこと、その生産を請け負っている Triumph 社との間でコスト負担について訴訟になっていることなども報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-16/first-global-7000-logs-100-hours-ftv2-fly-soon>

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/weight-reduction-cited-for-global-7000-wing-redesign-434265/>

Gulfstream G650/650ER、中国の型式証明を取得

2017年2月16日：Aviation International News

Gulfstream 社は、G650/650ER が中国当局から型式証明を取得したことを発表した。これで、同型機は26か国から型式証明を受けたことになる。また、2017年2月に、2つの都市間飛行時間記録を樹立したことも報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-16/gulfstreams-g650-and-g650er-earn-china-caa-nod>

AW169型ヘリ、FAA の型式証明を取得

2017年2月14日：Aviation International News

Leonardo Helicopters 社は、AW169型中型ヘリが FAA の型式証明を取得したことを発表した。EASA の型式証明に遅れること7か月である。同社によると、オプションを含め150機以上を受注している。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-14/leonardo-aw169-medium-twin-helo-gets-faa-nod>

安全：

NTSB、チャーター運航事業について、業界の安全性認証制度に疑問

2017年2月14日：Aviation International News

2015年11月10日に、Execuflight 社が運航する Hawker 700が Akron Fulton International 空港への進入中に失速墜落して搭乗者9人全員が死亡したが、NTSB 最終報告書では推定原因として、パイロットの、進入方式と数々の会社の標準手順からの逸脱をあげている。また、調査官の1人の意見として、同社に対する FAA の監督に不備があったことに加え、安全監査を生業とする Argus 社からは“Gold Rating”を、Wyvern 社にも登録されていたことを指摘し、これらの業界の基準は利用者に幻想を抱かせるものだとしている。事実、両社の Execuflight 社に与えた基準はチャーター運航事業者を紹介するだけのもので、安全監査は行っていなかった。安全監査に合格している場合は、Argus 社は“Platinum Rating”を、Wyvern 社は“Wingman”の評価を与えており、両社ともそれらの紛らわしさを認めている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-02-14/ntsb-accident-report-highlights-charter-ops-audit-questions>

以上